



ゆたかなイばしょ

“イばしょ”のイは、居心地の“居”であったり、其々異なるであったりと、相違を理解してモノの見方を見直す「コト」でもあります。移り変わる日常の中の「元何か」

似て非 works が、これまで活動拠点としてきた場所は全て、元お菓子工場や、銀行跡、運送屋さん跡と、其々が似て非 works と出会いアーティストランスペースとして生まれ変わりました。「日常とアート」をテーマとして、アートや音楽、パフォーマンス等の企画や作品に繋がる参加型ワークショップを行いつつ、あらゆる空間をひとつの「表現」と捉えてアトリノベーションと云う手法を用いて、既成概念に捉われない発想で、町の中を舞台に表現しております。

「既製品の見方を変える。既成概念を疑う」

役割を終えたモノは再度、見方を変えて活用してみる。その対象は小さなモノから町そのものまでに及びます。普段眠っている自由で豊かな人の創造性は、誰にでもあり、少しのキッカケと行動で、もっと自由で豊かなモノやコトに生まれ変わります。大切なことは「元何か」は全て町の中にあり、誰にでもある創造性も町の中にあるという事なのです。

今回使用する素材は全て一度用を終えたモノたちです。

この表現が、やがて当たり前の様に日常化しゆく事で、普段眠っている「元何か」が、新たな表現として浸透して行き、それが又、想像を超える展開になる事が狙いです。



廻るアートラウンジ

ゆたかなイばしょ

Up cycling love...

nitehi works

